2027年３月期
第２四半期決算説明会

（2026年4月1日～2026年9月30日）

2026年11月13日

理想科学工業株式会社

目次

1	当社概要	Slide 2
2	2027年3月期　中間期連結業績	Slide 7
3	2027年3月期　当期の活動	Slide 13
4	2027年3月期　通期連結業績予想	Slide 19
5	株主還元	Slide 23

【将来見通しに関わる記述についての注意事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

1　当社概要

1.1　会社概要
1.2　事業内容
1.3　インクジェット事業の構成比の推移
1.4　当社製品のポジショニング

1.1　会社概要　（2026年9月30日現在）

■ 社　　名	理想科学工業株式会社
■ 代　表　者	代表取締役社長　羽山　明
■ 本　　社	〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号　田町センタービル
■ 創　　業	1946年（昭和21年）9月2日
■ 会 社 設 立	1955年（昭和30年）1月25日
■ 資　本　金	14,114,985,384円
■ 従 業 員 数	1,550名〔グループ全体　3,289名〕
■ 連結子会社	26社〔国内4社　海外22社〕

1.2　事業内容

印刷機器関連事業
（売上構成比97.9%）

■印刷機器事業

・**インクジェット事業**
高速インクジェットプリンター
「オルフィス」

・**孔版事業**
デジタル印刷機
「リソグラフ」

■インクジェットヘッド事業

不動産事業
（売上構成比1.3%）

その他
（売上構成比0.8%）

■プリントクリエイト事業

■デジタルコミュニケーション事業

■アプリケーションソフトウェア事業


オルフィス
GN9830


リソグラフ
MH935W

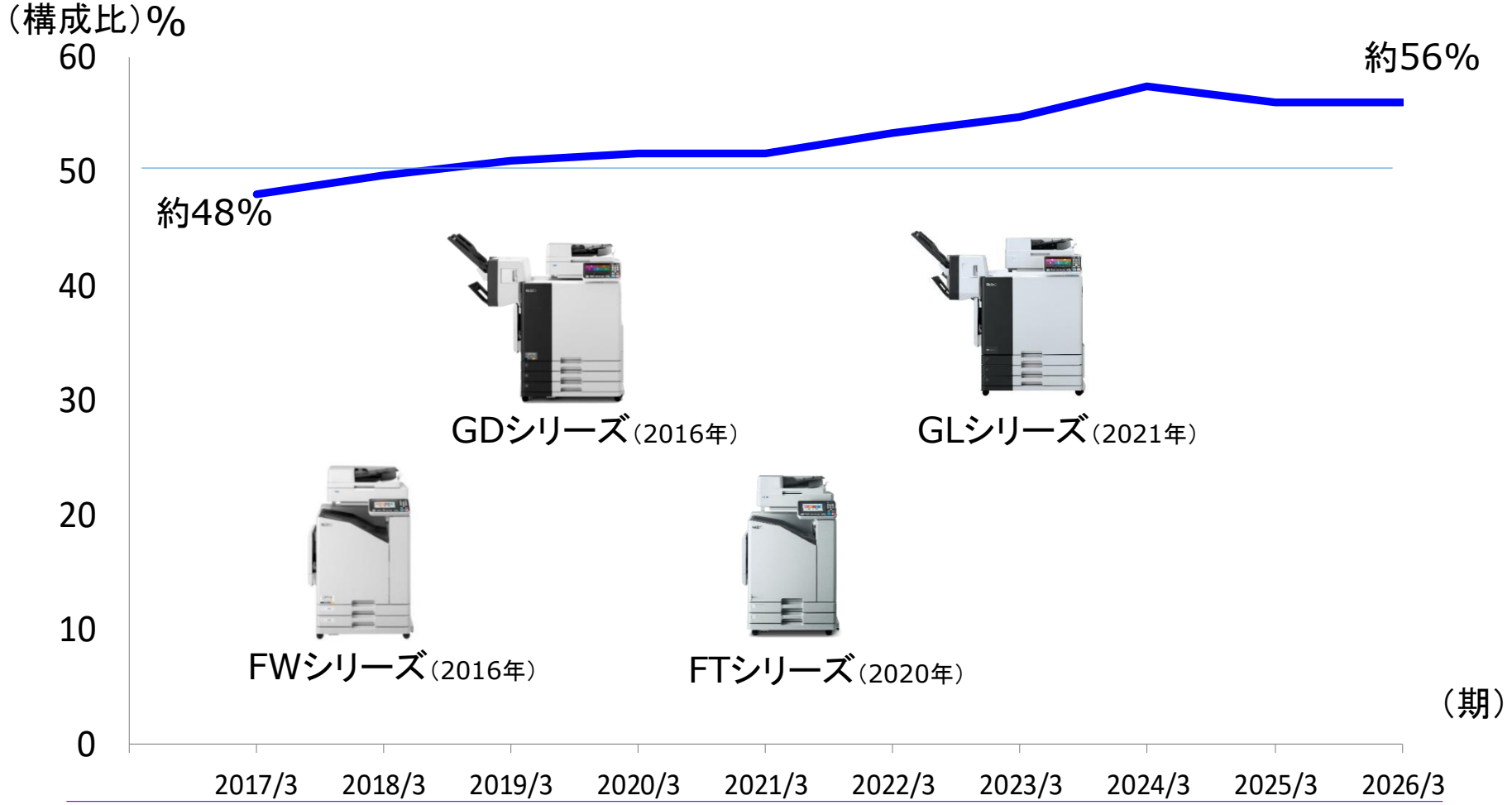

インクジェットヘッド
CFシリーズ


ゴッコプロ
シリーズ

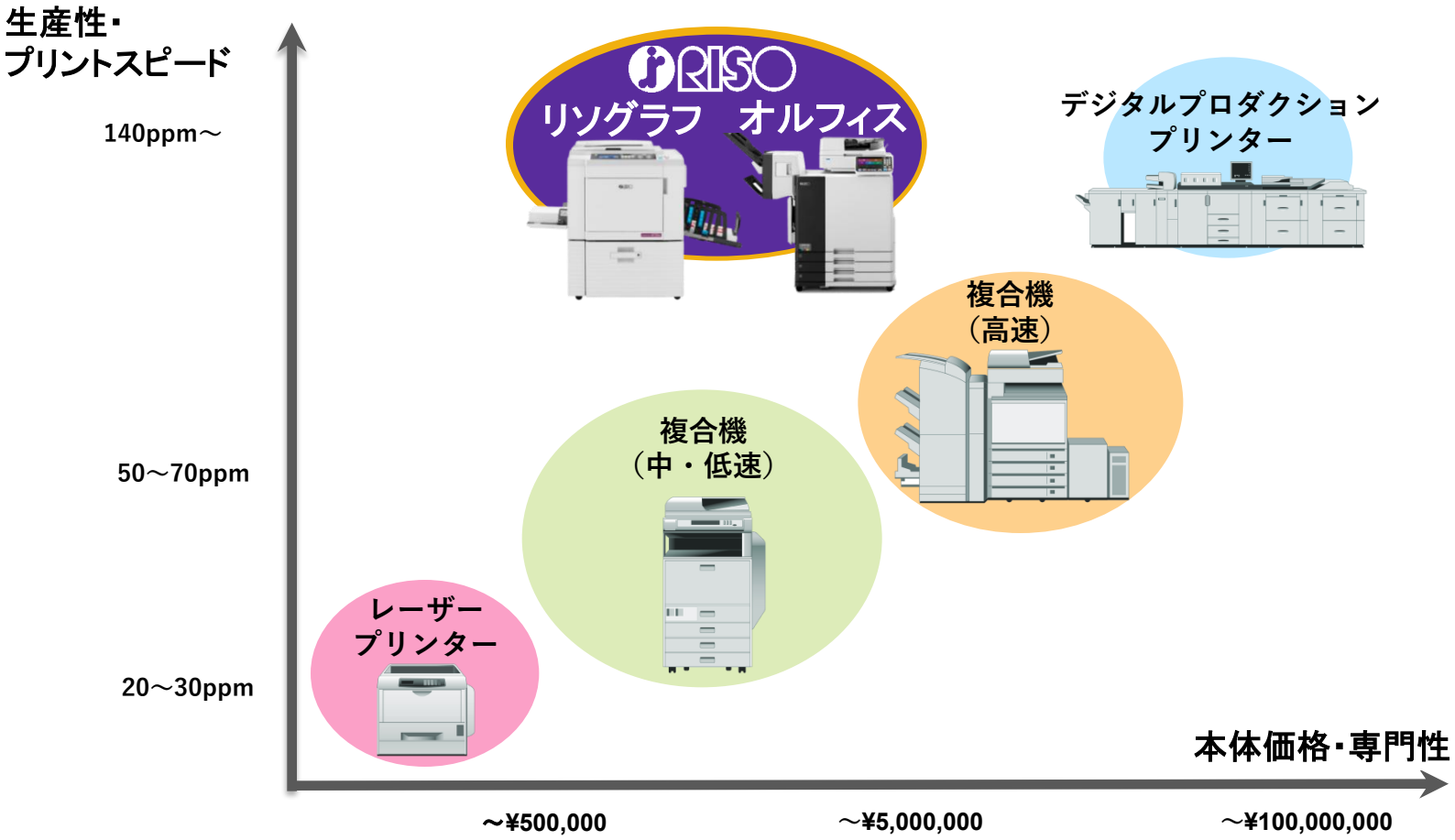
スクリレ
ヨミヤス
デジパル

1.3　インクジェット事業の構成比の推移

連結売上高に占めるインクジェット事業の構成比の推移(過去10年)



1.4　当社製品のポジショニング



「プリントスピード」「低コスト」「操作性」に強みを持つ独自の製品を展開

2　2027年３月期　中間期連結業績

2.1　　連結業績 -概要

2.2　　連結業績 -セグメント別業績

2.1　2027年3月期　中間期連結業績　–概要

（単位：百万円）

	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	対前年実績差異 増減金額	対前年実績差異 増減率
売上高	37,620	41,550	3,929	10.4%
売上総利益	22,630	25,587	2,957	13.1%
（売上高総利益率）	(60.2%)	(61.6%)		
販売管理費	20,089	22,205	2,115	10.5%
営業利益	2,540	3,382	841	33.1%
（売上高営業利益率）	(6.8%)	(8.1%)		
経常利益	2,810	3,335	524	18.7%
親会社株主に帰属する中間純利益	1,791	2,513	722	40.4%
為替レート（期中平均）				
米ドル/円	146.04	159.37	13.33円 円安	
ユーロ/円	168.06	184.35	16.29円 円安	

2.1　2027年３月期　中間期連結業績　–概要

売上高は増収、営業利益は増益、
親会社株主に帰属する中間純利益は増益

■売上高

・印刷機器関連事業において、海外では為替の円安影響に加え、
フィリピン販売店の承継会社2社の株式一部取得による連結子会社化※に伴い増収。
日本では消耗品の価格改定に伴う前倒し需要により増収。

※以下、「フィリピン販売店承継会社の連結子会社化」という

■販売管理費

・為替の円安影響やフィリピン販売店承継会社の連結子会社化に伴い増加。
フィリピン販売店承継会社の連結子会社化による販売管理費の増加には、
承継会社の販売管理費やのれん償却費のほか、取得関連費用320百万円が含まれる。

■営業利益

・上記の結果により増益

■親会社株主に帰属する中間純利益

・営業外損益：47百万円の損失（為替差損160百万円を計上）
・特別損益　：527百万円の利益（投資有価証券売却益527百万円を計上）

2.1　2027年3月期　中間期連結業績　–概要

（単位：百万円）

	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	対前年実績差異 増減金額	対前年実績差異 増減率	為替影響 除く増減率
売上高	37,620	41,550	3,929	10.4%	5.0%
売上総利益	22,630	25,587	2,957	13.1%	5.7%
（売上高総利益率）	(60.2%)	(61.6%)			
販売管理費	20,089	22,205	2,115	10.5%	7.2%
営業利益	2,540	3,382	841	33.1%	▲6.0%
（売上高営業利益率）	(6.8%)	(8.1%)			
経常利益	2,810	3,335	524	18.7%	
親会社株主に帰属する中間純利益	1,791	2,513	722	40.4%	
為替レート（期中平均）					
米ドル/円	146.04	159.37	13.33円 円安		
ユーロ/円	168.06	184.35	16.29円 円安		

2.2　2027年３月期　中間期連結業績　–セグメント別業績

売　上　高

（単位：百万円）

	2026年３月期 中間期		2027年３月期 中間期		対前年実績差異	
	実績	構成比	実績	構成比	増減金額	増減率
売上高	37,620	100.0%	41,550	100.0%	3,929	10.4%
印刷機器関連事業	36,801	97.8%	40,601	97.7%	3,800	10.3%
日本	17,250	45.9%	17,901	43.1%	651	3.8%
海外	19,551	52.0%	22,699	54.6%	3,148	16.1%
不動産事業	504	1.3%	557	1.3%	53	10.6%
その他	314	0.8%	390	0.9%	76	24.2%

【印刷機器関連事業】　増収

日本は消耗品の価格改定に伴う前倒し需要により増収。

海外は為替の円安影響に加え、フィリピン販売店承継会社の連結子会社化に伴い増収。

2.2　2027年３月期　中間期連結業績　–セグメント別業績

営 業 利 益

（単位：百万円）

	2026年３月期 中間期 実績	2027年３月期 中間期 実績	対前年実績差異 増減金額	増減率
営業利益	2,540	3,382	841	33.1%
印刷機器関連事業	2,375	3,195	820	34.5%
不動産事業	322	366	44	13.7%
その他	▲156	▲179	▲23	–

【印刷機器関連事業】 増益

為替の円安影響やフィリピン販売店承継会社の連結子会社化、
日本における消耗品の前倒し需要により売上高・売上総利益が増加したため増益。

3　2027年3月期　当期の活動

3.1　　2027年3月期　経営方針

3.2　　当期の活動

3.1　2027年３月期　　経営方針

印刷機器関連事業の収益体質の強化をはかる

理想科学らしい企画・開発を推進する

コーポレート本部の企画力を充実する

事業環境の変化に迅速に対応する

3.2　当期の活動

■インクジェット事業

高速インクジェットプリンター
「オルフィスGNシリーズ」を2026年7月に発売

・カラー毎分180枚の高生産性



『オルフィス GN9830』

■孔版事業

デジタル印刷機
「リソグラフSJシリーズ」を2026年7月に発売

・業界トップクラス毎分200枚のプリントスピード



『リソグラフ SJ939G』

3.2　当期の活動

■「Integlide」（インテグライド）新製品

インクジェットプリントエンジン「Integlide」の新たなラインアップとして、パッケージ側面への印刷に対応した横方向タイプを発売

日本国内および欧州にて2026年7月31日より受注開始





プリントシステム構成例

3.2　当期の活動

■自己株式の取得（2027年３月期中間連結会計期間）

・取得株式総数：739,600株（発行済株式総数の約1.03%）

・取得価額総額：799百万円

2026年9月末の株式数

・発行済株式総数	：	72,000,000株
・自己株式数	：	9,834,216株
・自己株式を除く発行済み株式総数	：	62,165,784株

3.2　当期の活動

■フィリピン子会社の完全子会社化

当社連結子会社であるRISO Copylandia Philippines Corp.
の株式を追加取得し、完全子会社化を決定

＜完全子会社化の概要＞

・会社の名称 ： RISO Copylandia Philippines Corp.

・取得価額　 ： 約3,199百万円（20,308千米ドル）※

・株式取得後の議決権所有割合 ： 100% （2026年5月22日株式取得時： 51%）

・株式取得日 ： 2026年11月（予定）

・のれん金額 ： 概算3,199百万円（償却期間：9年）

※のれんの償却は2026年4月1日に遡り、当第３四半期に上期分（6ヶ月分）と
第３四半期分（3ヶ月分）の計9ヶ月分を一括して計上する予定です。

※換算レート：1米ドル=157.54円（2026年10月30日時点）

4　2027年３月期　通期連結業績予想

4. 2027年３月期　通期連結業績予想①

■2027年３月期 通期連結業績予想を修正（11月5日公表）　（単位：百万円）

	2026年３月期 実績	2027年３月期 11/5予想	増減額/増減率	2027年３月期 5/8予想	増減額/増減率
売上高	78,990	84,100	5,110 6.5%	80,900	3,200 4.0%
営業利益	5,111	5,600	489 9.6%	4,900	700 14.3%
経常利益	5,872	5,600	▲272 ▲4.6%	5,100	500 9.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,378	4,500	122 2.8%	4,100	400 9.8%
売上高営業利益率	6.5%	6.7%		6.1%	

為替レート（期中平均）				
米ドル/円	150.77	157.00		150.00
ユーロ/円	174.79	179.00		175.00

※下期想定為替レート:1米ドル155円、1ユーロ175円

4. 2027年３月期　通期連結業績予想①

■中東情勢がサプライチェーンに及ぼす影響について

＜原材料や部品の調達について＞

原材料や部品の調達においては、現在のところ著しい問題は発生しておらず、
当社製品の販売やサービスの供給への影響は想定していない。

＜原材料や部品の価格上昇の影響について＞

原材料や部品の価格上昇に伴う一定の製造原価上昇を想定し、
連結業績予想に織り込み済み。

＜経費の上昇について＞

エネルギー価格の高騰による一定の輸送費や光熱費などの上昇を想定し、
連結業績予想に織り込み済み。

4. 2027年3月期　通期連結業績予想②

■参考：為替変動による通期連結業績へのインパクト（1円変動時）

	売上高	営業利益
米ドル	150百万円	50百万円
ユーロ	80百万円	40百万円

5 株主還元

5. 株主還元 － 基本方針

■利益配分に関する基本方針

（1）企業体質を強化しつつ業績に裏付けられた成果の配分を行うこと

（2）安定配当の継続に努めること

※基本方針に基づき、期末配当による年1回の剰余金の配当を行う

■自己株式の取得・消却

（1）自己株式の取得も利益還元のひとつと考え、株価水準や市場の動向を考慮しながら適宜取得する

（2）所有する自己株式は原則として消却する

5. 株主還元 － 当期配当予想および自己株式取得について

■2027年3月期　配当予想：1株当たり50円

■自己株式の取得予定 （11月5日発表）

・取得株式総数 ： 21万株（上限）

・取得価額総額 ： 2億円（上限）

・取得期間　　： 2026年11月19日 から 2026年12月23日

おかげさまで理想科学工業は
創業80周年を迎えました。



（参考資料）

（単位：百万円）

	2027年3月期 通期予想			2026年3月期 通期実績	
	金額	構成比	前期比	金額	構成比
売上高	84,100	100.0%	6.5%	78,990	100.0%
印刷機器関連事業	82,300	97.9%	6.4%	77,317	97.9%
日本	36,500	43.4%	2.1%	35,766	45.3%
海外	45,800	54.5%	10.2%	41,551	52.6%
不動産事業、その他	1,800	2.1%	7.6%	1,673	2.1%
売上総利益	51,000	60.6%	8.0%	47,225	59.8%
販売費及び一般管理費	45,400	54.0%	7.8%	42,113	53.3%
営業利益	5,600	6.7%	9.6%	5,111	6.5%
経常利益	5,600	6.7%	▲4.6%	5,872	7.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,500	5.4%	2.8%	4,378	5.5%
設備投資額	4,100	―	▲2.7%	4,213	―
減価償却費	4,300	―	33.4%	3,223	―